

一般社団法人日本知財学会 2024 年度事業報告

(1) 知的財産に関する学術研究（定款第5条第1号）

- ・各研究分科会が、分科会のテーマに沿った学術研究を行った。
- ・会員を対象とした定例研究会を行った。
- ・法人会員を対象としたエグゼクティブ知財時事懇談会にて、時事トピックスに関する学術研究を行った。
- ・他機関とも協力し、国際的な研究交流の拡大を行った。

■分科会活動（定例研究会、学術研究発表会での分科会セッションを含む）

【知財人財育成研究分科会】

- | | |
|-----------------|--|
| 2024 年 8 月 28 日 | 第 83 回定例研究会（第 43 回例会）「今後の『知財人財』育成研究の活動テーマと論点を俯瞰的に整理する～知財権取得人財からイノベーション支援人財まで～」 |
| 2024 年 12 月 8 日 | 年次学術研究発表会セッション「知財部員の『キャリアパス』の変容と多様化」 |
| 2024 年 3 月 25 日 | 第 44 回例会「イノベーションに寄与するインベンション人財と知財人財について考える」 |

【知財教育分科会】

- | | |
|------------------|---|
| 2024 年 4 月 20 日 | 第 79 回定例研究会（第 72 回知財教育研究会）「中国の知財教育研究 - 知財学部・大学院の状況を中心に -」 |
| 2024 年 6 月 30 日 | 第 73 回知財教育研究会「知財教育」と「知財創造教育」／一般 |
| 2024 年 8 月 8 日 | 第 82 回定例研究会（第 74 回知財教育研究会）「これだけは知っておきたい知財基礎～大学の研究者のために」 |
| 2024 年 11 月 23 日 | 第 75 回知財教育研究会「知財教育」と「知財創造教育」 |
| 2024 年 12 月 7 日 | 年次学術研究発表会セッション「知財教育のこれから～知財創造教育と専門教育を繋ぐ～」 |
| 2025 年 3 月 22 日 | 第 76 回知財教育研究会「知財教育研究」 |
| 2025 年 3 月 28 日 | 第 88 回定例研究会（第 77 回知財教育研究会）「101 点の弁論—国語教育と知財教育における弁論の可能性」 |

【知財学ゼミナール】

- | | |
|------------------|---|
| 2024 年 7 月 13 日 | オープンセミナー「新経済循環」と「全世代アプローチ」で創る革新的 Well-being 社会モデルの実現」 |
| 2024 年 9 月 11 日 | 第 84 回定例研究会「アカデミア発シーズの共有特許を社会実装するために～国に頼らない知財マネジメントを考える～」 |
| 2024 年 11 月 16 日 | オープンセミナー「暗黙の知財同盟：知財活用による市場の寡占を維持するメカニズム」 |
| 2025 年 1 月 18 日 | オープンセミナー「知財判例から知財戦略を探る」 |

【ビジネスと知的資産・知財法研究分科会】

- | | |
|------------------|--|
| 2024 年 10 月 30 日 | 第 85 回定例研究会「感性に基づく価値研究に関する考察—ファッションを中心としたコンテンツ産業を事例として—」 |
| 2024 年 12 月 8 日 | 年次学術研究発表会セッション「中小企業・ベンチャーと知財経営」 |

【大学発・イノベーション分科会】

- | | |
|-----------------|---|
| 2024 年 4 月 17 日 | 第 32 回研究会（大学発イノベーション分科会共催 ABS セミナー）
「特許出願時の遺伝資源等の出所開示要件 WIPO/IGC における議論」 |
| 2024 年 8 月 9 日 | 第 81 回定例研究会（第 33 回研究会）「九州大学の産学連携について」 |
| 2024 年 12 月 8 日 | 年次学術研究発表会セッション「大学に期待すること、しないこと」（スタートアップ支援編） |

【コンテンツ・マネジメント分科会】

- 2024年5月10日 第82回CMSC研究会 TMI 総合法律事務所協賛企画 『AIと知財実務』連続セミナー第1回
「生成AIに関する特許を取得するためのポイント（事例を交えて）」
- 2024年6月21日 第83回CMSC研究会 TMI 総合法律事務所協賛企画 『AIと知財実務』連続セミナー第2回
「AI生成コンテンツの商業利用と留意点～現場と実務の視点から考える」
- 2025年1月21日 第86回定例研究会（第84回CMSC研究会）
「論点整理：仮想空間におけるデザイン保護～意匠法改正の検討を中心に～」
- 2025年2月5日 第85回CMSC研究会
連続研究会『エンタテインメント産業と生成AI・ディープフェイク』第1回
「パブリシティ権による肖像・声の保護と限界」
- 2025年2月13日 第86回CMSC研究会
連続研究会『エンタテインメント産業と生成AI・ディープフェイク』第2回
「肖像・声の生成・利用と著作権法・不正競争防止法等～米国法との比較考察～（仮）」

【知財制度・判例分科会】

- 2025年12月8日 年次学術研究発表会セッション「自動運転OSSの国際標準化：エコシステムによる普及加速と安全性の担保」

【経営デザイン分科会】

- 2024年4月18日 第34回研究会「経営デザインシート活用事例発表研究会」
- 2024年5月16日 第80回定例研究会（第35回研究会）
「特許庁I-OPENプロジェクトから～社会課題解決を経営デザインシートで読み解く～」
- 2024年7月18日 第36回研究会「経営デザインシート活用事例発表研究会」
- 2024年9月19日 第37回研究会「経営デザインシート活用事例発表研究会」
- 2024年11月21日 第38回研究会「経営デザインシート活用事例発表研究会」
- 2025年1月16日 第39回研究会「経営デザインシート活用事例発表研究会」
- 2025年2月20日 第40回研究会「経営デザインシート活用事例発表研究会」

【ブランド経営分科会】

- 2024年5月15日 第15回研究会「結合商標の類否について ― VENTURE 事件 および最近の審決取消訴訟の考察」
- 2025年3月5日 第87回定例研究会（第16回研究会）「修理する権利とブランドの保護」

■定例研究会

※分科会活動の欄に記載

■エグゼクティブ知財時事懇談会

- 2024年6月6日 第62回「セキュリティークリアランスおよびCUIと知的財産」
- 2024年7月11日 第63回「知的財産推進計画2024の概要～イノベーションを創出・促進する知財エコシステムの構築と『新たなクールジャパン戦略』の推進に向けて～」
- 2025年3月7日 第64回「最近の知財政策について」

(2) 研究会、研究発表会、講演会等の開催（定款第5条第2号）

知的財産に関する学術研究発表会、シンポジウム等を以下のとおり開催した。

■学術研究発表会

第 22 回年次学術研究発表会 2024 年 12 月 7 日（対面、国際ファッション専門職大学）

8 日（オンライン、実施拠点：国立大学法人電気通信大学）

「サステナブルな社会と知的財産：持続的な社会を実現するための知財創出・保護・利活用」 参加者：351 人

《一般発表》

◇インテンシブ・プレゼンテーション（発表 30 分、質疑 10 分） 9 件

◇オーディナリー・プレゼンテーション（発表 15 分、質疑応答 5 分） 75 件

《一般発表カテゴリ別発表件数》

(1)	知財制度、国際化に関する課題 15 件	(6)	知財経営 9 件
(2)	ブランド・デザイン・コンテンツマネジメント 21 件	(7)	ビジネスモデル、ESG、SDG s 0 件
(3)	先端技術、IT、データ利活用 4 件	(8)	知財の実証分析 7 件
(4)	バイオ・ライフサイエンス 5 件	(9)	その他（知的財産の新領域） 3 件
(5)	知財人材育成、知財教育 8 件	(10)	学生発表 12 件

《シンポジウム》

- ・「サステナブルな社会と知的財産：持続的な社会を実現するための知財創出・保護・利活用

＜パネリスト＞

菅原 潤一氏（Spiber 株式会社 取締役（兼）代表執行役）

千木良 健司氏（株式会社アパレルウェブ 代表取締役 CEO）

妹尾 堅一郎氏（特定非営利活動法人産学連携推進機構 理事長）

＜モデレーター＞

小川 徹氏（株式会社 JMDC リスクマネジメント室 法務知財グループ）

《分科会セッション》

※分科会活動の欄に記載

《企画セッション》

- ・「ネイチャーポジティブ生物多様性科学のビジネスモデルと知財戦略一」
- ・「映像制作現場における知的財産権のゆらぎ」
- ・「色彩のみからなる商標の保護と活用」
- ・「『除くクレーム』について」
- ・「『些細な』著作物の利用と著作権侵害」
- ・「イノベーション促進に貢献するパスツール型研究者とチームビルディングへの応用展開」
- ・「新産業を創るスタートアップにおける知財活動でのチャレンジ」
- ・「生成 AI を活用したこれからの知財実務」
- ・「オープンに開発される技術のガバナンス戦略」
- ・「知的財産法と独占禁止法」
- ・「商標言語学オノマトペ編」

《協賛セッション》

- ・日本弁理士会協賛セッション

「仮想空間における創作物の保護のあり方についての考察」

■シンポジウム

【2024 年度シンポジウム】

「ビッグデータ AI 活用の今一医療の推進を見据えて一」

2024 年 7 月 23 日 法政大学ボアソナードタワースカイホール 参加者：97 人

<プログラム>

【オープニング・趣旨説明】 渡部 俊也 氏（東京大学 教授/本学会会長）

【第 1 部 講演】 「創薬等のための健康医療データの利活用推進に向けた期待」

安中 良輔 氏（日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 医療情報データベース活用促進
タスクフォース）

「アカデミアにおける RWD 活用による新薬・新医療機器の開発支援：現状と将来像」

船越 公太 氏（九州大学病院 ARO 次世代医療センター 臨床研究監理部門長／データ
サイエンス室長）

「薬事承認に利用可能なリアルワールドデータ構築を目指して」

坂東 英明 氏（国立がん研究センター東病院 医薬品開発推進部長／トランスレーシ
ョナルリサーチ支援室長）

「臨床情報の二次利用事例からみるデータ利活用に関する課題」

牧野 奈緒 氏（株式会社 4DIN アカデミックサービス部長）

「データヘルスで目指す未来ビジョン」

古井 祐司 氏（東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授）

「医療データの利活用（令和 5 年規制改革実施計画とその後）」

木尾 修文 氏（内閣府規制改革推進室 参事官）

【第 2 部：パネル討論】 「ビッグデータ AI 活用の今一医療の推進を見据えて一」

<モデレータ>

石埜 正穂 氏（札幌医科大学 医学部先端医療知財学 教授）

<パネリスト>

「Mining Massive Medical Datasets: AI データマイニング技術を活用した医療ビッグデ
ータの規格統一化」

岩波 邦明 氏（ルイ・イーグル株式会社 代表取締役）

「医薬品規制領域における DX の国際動向」

岡田 美保子 氏（一般社団法人医療データ活用基盤整備機構 理事長）

第 1 部の講演者全員

【クロージング】 奥村 洋一 氏（東京大学産学協創推進本部 ディレクター）

【日中韓連携的財産シンポジウム】

2024 年 12 月 19 日

主催：日本国特許庁、日本知財学会、日本弁理士会

共催：中国知識産権研究会、韓国知識財産学会

場所：東京大学 伊藤謝恩ホール

<プログラム>

挨拶・祝辞

小野 洋太 氏（日本国特許庁 長官）

渡部 俊也 氏（日本知財学会 会長）

鈴木 一永 氏（日本弁理士会 会長）

馬 一徳 氏（中国知識産権研究会 副理事長）

Hye Eun Shin 氏（韓国知識財産学会 会長）

●共通テーマ「特許の審査、サーチにおけるA I の活用」

講演

五十嵐 康弘 氏（特許庁 審査第一部 調整課審査企画室 企画調査官）

彭 学龍 氏（中南財經政法大学 知識産権研究センター 主任・教授）

Lee Chang Kyo 氏（韓国特許庁 産業財産情報システム課）

●テーマ1：「大規模言語モデル技術の審査メカニズムへの挑戦」

崔 国斌 氏（清華大学法学院 教授）

Kim, Kwan-Shik 氏（韓南大学 法学部 教授）

河野 英仁 氏（河野特許事務所 所長・弁理士）

<モデレーター>

上野 剛史 氏（一般社団法人日本知的財産協会 専務理事）

●テーマ2：「標準必須特許とライセンス」

KIM, Byungil 氏（漢陽大学 法科大学院 教授）

立本 博文 氏（筑波大学 ビジネスサイエンス系 教授）

党 建偉 氏（同済大学 上海国際知識産権学院 副院長）

<モデレーター>

吉岡（小林） 徹 氏（一橋大学イノベーション研究センター 准教授）

●テーマ3：「女性活躍とイノベーション」

宮岡 真衣 氏（日本国特許庁 総務部国際政策課 課長補佐／DE&Iチーム チームリーダー）

張 健佳 氏（中国知識産権研究会 総合部 部長）

Hwang Seon Yeong 氏（釜山大学校 知財人材育成センター 教授）

<モデレーター>

矢藤 有希 氏（ソニー知的財産サービス株式会社 役員室シニアイノベーションマネージャー）

クロージング

坂本 智弘 氏（弁理士法人坂本国際特許商標事務所 代表弁理士）

(3) 知的財産に関する人材育成（定款第5条第3号）

知的財産に関する人材育成事業として、以下の事業を行った。

■知的財産大学院協議会

- ・知的財産大学院協議会の活動を支援した。

■その他

- ・弁理士を対象とした継続研修に認定された催しを開催し、高度専門職に対する知的財産教育に協力した。
- ・学術研究発表会にて懇親会を開催し知的財産研究に携わる研究者、実務家、学生のネットワーク形成の場を提供した。

(4) 知的財産に関する調査研究・啓発活動（定款第5条第4号）

- ① 知的財産に関する啓発活動として、以下の後援を行った。

- ・「第20回日本TRIZシンポジウム2024」（2024年8月29日、30日） 主催：NPO法人日本TRIZ協会
- ・輸出管理DAY for ACADEMIA 2024（2024年11月1日） 主催：輸出管理DAY for ACADEMIA
- ・「グローバル知財戦略フォーラム2025」（2025年2月21開催） 主催：特許庁、独立行政法人工業所有権情報・研修館

② 学会ホームページ上に、知的財産に関する情報（公益性を有するもの）を掲載した。

③ 特許庁による知財功労賞「知的財産権制度関係功労者表彰」候補者を推薦した。

④ 日本弁理士会の外部委員候補者を推薦した。

(5) 学会誌及び学術図書の刊行（定款第5条第5号）

■日本知財学会誌

企画論文及び投稿論文（査読付き）を掲載した日本知財学会を3冊発刊した。

- ・第21巻第1号（2024年9月20日発行）
「生成AIと知的財産」
- ・第21巻第2号（2024年12月20日発行）
「デザイナー契約法に向けた期待」
- ・第21巻第3号（2025年3月20日発行）
「授業目的公衆送信補償金制度の創設と今後の展開」

発刊日より2年を過ぎた既刊誌に掲載された論文のうち、著者の許諾を得られた論文のWEB公開を進めた。

■学術研究発表会予稿集

第22回学術研究発表会の一般発表予稿及び企画セッション概要を収めた予稿集（電子媒体）およびプログラム冊子を発行した。

(6) 知的財産に関する表彰（定款第5条第6号）

■日本知財学会 産業功労賞

第21回日本知財学会産業功労賞表彰（2024年6月17日）

受賞法人：日産自動車株式会社

■学生優秀発表賞

学術研究発表会にて優れた研究発表を行った学生2人を表彰した。

(7) その他必要な事業（定款第5条第7号）

■総会の開催

一般社団法人日本知財学会 第13回通常総会

（2024年6月17日、AP市ヶ谷Room D）

第1号議案 2023（令和5年）年度事業報告の件 第2号議案 2023（令和5年）年度収支決算報告の件

第3号議案 役員改選の件

報告1 2024（令和6年）年度事業計画の件 報告2 2024（令和6年）年度収支予算の件

■理事会の開催

一般社団法人日本知財学会理事会

（2024年4月30日、2024年6月17日、2024年11月6日、2025年3月27日）

会員の状況

	2024 年 3 月 31 日	2025 年 3 月 31 日	増減数
正会員（個人）	847 人	840 人	7 人減
正会員（法人）	22 法人（47 口）	21 法人（45 口）	1 法人（2 口）減
賛助会員（法人）	61 法人（125 口）	60 法人（123 口）	1 法人（2 口）減
学生会員	19 人	14 人	5 人減
名誉会員	11 人	11 人	増減なし

役 員 理事 19 人、監事 1 人
事務局 事務局員 10 人、職員 2 人

.....

一般社団法人日本知財学会 2024 年度事業報告 附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に記載すべき事項はない。

一般社団法人日本知財学会 2024年度決算報告

貸借対照表 2025年3月31日現在

(単位：円)

科目	2024年度	2023年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金	34,096,010	32,087,211	2,008,799
(2) 前払費用	0	0	
(3) 未収入金	0	1,466,686	0
(4) 仮払金	0	0	0
流動資産合計	34,096,010	33,553,897	542,113
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
退職給付引当資産	1,700,000	1,600,000	100,000
(3) その他固定資産			
定期預金	76,617	76,450	167
什器備品	282,205	247,169	35,036
固定資産合計	32,058,822	31,923,619	135,203
資産合計	66,154,832	65,477,516	677,316
II. 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 未払費用	478,157	1,939,549	△ 1,461,392
(2) 預り金	65,726	51,251	14,475
(3) 前受金	41,000	11,000	30,000
(4) 仮受金	0	0	0
流動負債合計	584,883	2,001,800	△ 1,416,917
1. 固定負債			
(1) 退職給付引当金	1,700,000	1,600,000	100,000
固定負債合計	1,700,000	1,600,000	100,000
負債合計	2,284,883	3,601,800	△ 1,316,917
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産	63,869,949	61,875,716	1,994,233
(うち基本財産充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	0
(うち特定資産充当額)	(11,700,000)	(11,600,000)	100,000
正味財産合計	63,869,949	61,875,716	1,994,233
負債及び正味財産合計	66,154,832	65,477,516	677,316

貸借対照表 内訳表 2025年3月31日現在

(単位：円)

科目	実施事業等会計	その他事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I. 資産の部					
1. 流動資産					
(1) 現金預金	20,457,606	6,819,202	6,819,202		34,096,010
(2) 前払費用					0
(3) 未収入金					0
(4) 仮払金					0
流動資産合計	20,457,606	6,819,202	6,819,202	0	34,096,010
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金			20,000,000		20,000,000
(2) 特定資産					
定期預金		10,000,000			10,000,000
退職給付引当資産	1,020,000	340,000	340,000		1,700,000
(3) その他固定資産					
定期預金			76,617		76,617
什器備品	169,323	56,441	56,441		282,205
固定資産合計	1,189,323	10,396,441	20,473,058	0	32,058,822
資産合計	21,646,929	17,215,643	27,292,260	0	66,154,832
II. 負債の部					
1. 流動負債					
(1) 未払費用	423,832	27,163	27,162		478,157
(2) 預り金	39,436	13,145	13,145		65,726
(3) 前受金			41,000		41,000
(3) 仮受金					0
流動負債合計	463,268	40,308	81,307	0	584,883
1. 固定負債					
(1) 退職給付引当金	1,020,000	340,000	340,000		1,700,000
固定負債合計	1,020,000	340,000	340,000	0	1,700,000
負債合計	1,483,268	380,308	421,307	0	2,284,883
III. 正味財産の部					
1. 一般正味財産	33,189,949	10,340,000	20,340,000		63,869,949
(うち基本財産充当額)			(20,000,000)		(20,000,000)
(うち特定資産充当額)	(1,020,000)	(10,340,000)	(340,000)		(11,700,000)
正味財産合計	33,189,949	10,340,000	20,340,000	0	63,869,949
負債及び正味財産合計	34,673,217	10,720,308	20,761,307	0	66,154,832